

本間雄太さん(4年)の卒業論文が、朝日新聞新潟版3月8日付朝刊で報道されました。本間さんは、「アイドルファン行動が生み出す社会関係」という題目の論文を作成し、その中で新潟市に拠点を置くアイドル「NGT48」と「Negicco」のファンの行動を比較研究しました。

朝日新聞の記事は、高校時代からAKB48のファンだった本間さんが、2組のアイドルグループのファンに向けてツイッターを通して行なったアンケート、アイドルグループのファンやプロデューサーとグループを広報に起用した企業担当者の方々に対して行なったインタビューなどを基にして論文を作成した、と伝えています。

本間さんは社会関係資本の理論を用いた論文の結論の中で、2組のアイドルグループのファンの行動の共通点として、アイドルを育ててゆく過程で用いられるコミュニケーション手段が多様化していることを指摘しています。そして相違点としては、NGT48のファンは多くはAKB48グループのファンであり、アイドルとの関係は全国規模が規律されているものの、ファン同士の関係は外に開かれて新しいファンを獲得しようとしファン同士の個人的な関係も広げようとしている。これに対して、Negiccoのファンは、必ずしも元からアイドルファンではなくさまざまなきっかけによってNegiccoと出会ってファンになるので、新しいファンの迎え方が穏やかでファン同士の関係も多様であると分析しています。